

## スポーツ振興について(1)

### 1 スポーツを通じた国内外との交流促進

#### (1) 東京オリンピック・パラリンピックスポーツ交流創出事業

東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホストタウン相手国との交流や聖火リレーを通じて地域の盛り上がりを創出する。

##### ①ホストタウンを活用した交流推進

- ホストタウン相手国との交流事業を深めるとともに事前合宿の受け入れ準備を関係市とともに進めている。
- 東京オリンピック・パラリンピックが一年延期となり、今年7月から8月にかけて予定されていた事前合宿も全て延期となったことから、関係市と連携し、合宿受け入れに向けた再調整や機運醸成の取組、きめ細かなおもてなしの準備を進めていく。

相手国	合宿地	競技	参加予定人数 (スタッフ含)
トルコ	守山市	ゴールボール、視覚障がい者柔道	30名
スペイン	彦根市	ハンドボール(女子)	30名
シンガポール	甲賀市	パラスポーツ	20名
ニュージーランド	米原市	ホッケー(男子)	30名
	大津市	ボート	50名

##### ②東京オリンピック聖火リレー開催準備

- 県内全ての市町を通過する聖火リレールートや聖火ランナーの選考・公表を行うとともに、各市町と連携して地域の魅力発信や盛り上げにつながる取組の準備を進めている。

聖火リレールート	1日目	高島市→守山市→野洲市→近江八幡市→竜王町→湖南市 →栗東市→草津市→大津市
	2日目	甲賀市→日野町→東近江市→愛荘町→豊郷町→甲良町→ 多賀町→彦根市→米原市→長浜市
聖火ランナー	滋賀県実行委員会選出：43名・1グループランナー (西川貴教、山中慎介、武豊、SHIHO、東レアローズ 等)	

- 東京オリンピック聖火リレーが一年延期となり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会からは、日程やルートなど、これまでの基本的なフレームを尊重しながら、新たな聖火リレーの日程、準備を進めると聞いており、今後の組織委員会の動向を注視するとともに、聖火リレーの着実な実施に向けて準備を進めていく。

## (2) ワールドマスターズゲームズ 2021 関西

- ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の開催に向け、ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会、滋賀実行委員会、開催市実行委員会の3者で連携し、具体的な準備を進めている。
- 令和3年度に大会全体で公式競技 35 競技 59 種目を開催することとしており、本県では公式競技 6 競技種目、オープン競技 2 競技種目を開催する予定となっている。

### 【公式競技日程およびエントリー状況(R2.6.1 現在)】

競技種目 [開催市]	予定募集枠 (想定参加者数)	エントリー数	5/14 金	5/15 土	5/16 日	5/17 月	5/18 火	5/19 水	5/20 木	5/21 金	5/22 土	5/23 日	5/24 月	5/25 火	5/26 水	5/27 木	5/28 金	5/29 土	5/30 日
野球 (軟式野球) [東近江市] [守山市]	66チーム (1,100人)	33 チーム	開 会 式	○	○	○	○	○	○	○									閉 会 式
ホッケー [米原市] [長浜市]	50チーム (600人)	24 チーム		△	○	○	○	○	○	予備日									
ソフトボール [草津市] [守山市] [東近江市]	182チーム (2,700人)	57 チーム										○	○	○	予備日	○	○	○	
ボート [大津市]	861クルー (2,000人)	※								△	△	○	○	○	○	○	予備日		
陸上競技 (10kmロードレース) [彦根市]	1,500人	1,058人										○							
カヌー (ドラゴンボート) [大津市]	10人漕ぎ 80チーム 20人漕ぎ 65チーム (2,000人)	64 チーム															△	○	○
計	1,500人 1,304チーム等 (9,900人)	1,058人 178チーム																	

○…競技日、△…練習日・監督者会議等

※ R2.6 月中のエントリー開始を目途に IMGA と調整中

### 【オープン競技開催自治体・日程】

競技種目	開催自治体	日 程
パドルテニス	守山市	5月15日(土)・16日(日)
トレイルランニング	高島市	6月6日(日)

- 現在、開催市実行委員会が中心となり、会場・競技運営等の準備を進めているほか、県実行委員会ではびわこビジターズビューローの協力を得ながら本県ならではの観光プランを造成し、専用サイトを通じて予約を開始している。
- 令和2年2月から順次エントリーを受け付けているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からのエントリーが伸び悩んでおり、今後さらなる広報・啓発に努める必要がある。
- また、大会組織委員会からは、当初の計画どおり大会を開催すると聞いており、聖火リレーとの日程重複が懸念される中、組織委員会と連携して課題解決に取り組んでいく。



## 2 スポーツを通じた地域の活性化

### (1) 県民のスポーツ実施率の向上に向けた取組

- 県民の運動・スポーツ習慣化につながる取組を実施し、スポーツを通じた県民の健康づくりを推進している。
- 令和元年度調査によると、本県の成人の週1日以上スポーツ実施率は44.1%であり、平成30年度調査に比べ4.2ポイント上昇しているものの、国の実施率53.6%よりも低い状況となっている。

#### 【成人の週1日以上運動・スポーツ実施率（国との比較）】

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 (目標年度)
全国(a)		40.4%	42.5%	51.5%	55.1%	53.6%	—	—	65%
滋賀県	実績(b)	40.5%	36.0%	(36.0%)	39.9%	44.1%	—	—	—
	目標値※	—	—	—	—	44%	53%	61%	65%
差 (b - a)		0.1	△6.5	(△15.5%)	△15.2	△9.5	—	—	—

※R1～R3の目標値は、滋賀基本構想実施計画で定められているもの。

※R4(目標年度)の数値は、第2期滋賀県スポーツ推進計画で定められているもの。

(出典) 国：内閣府「東京オリンピック・パラリンピックに関する世論調査」(H27)

スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(H28、29、30、R1)

県：「県政世論調査」(H27)、「県民のスポーツライフにかかわるスポーツ実施状況調査」

(H28)、「滋賀県スポーツ実施状況調査」(H30、R1)

H29調査は未実施でH28調査数値を( )書きで記載。

- 新型コロナウイルスの感染防止策として「Stay home」が呼びかけられ、自宅で過ごす時間が増え、動画やSNSを通じたスポーツの取組や感染症の防止を意識しながらスポーツを楽しむといった新しいスポーツとの付き合い方が生まれてきており、大きな転換期を迎えている。

### (2) 「支える」スポーツの普及（スポーツボランティア支援事業）

- ワールドマスターズゲームズ2021 関西や2024年に本県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会等の大規模スポーツイベントの開催を視野に入れ、ボランティアの確保と育成を推進している。
  - ・令和2年3月31日現在登録者数：3,379名（うち令和元年度新規登録2,183名）
- 新型コロナウイルスの影響により多くの試合やスポーツイベント等が中止・延期となっている中、登録者数を更に増やすとともに、多くの活動機会を提供することが今後の課題となる。

### (3) プロスポーツ等を活用した県民スポーツの推進

○本県のスポーツ振興に欠かせない存在である県内プロスポーツチーム等の集客力や発信力を活用し、国スポ・障スポ等の大規模スポーツ大会のPRや県民の運動習慣化につながる啓発等を行い、県内のスポーツ機運の醸成を図っている。

対象チーム	取組内容
滋賀レイクスターズ(バスケットボール)	・試合会場等で大規模大会の横断幕掲示 ・マスコットキャラクターの出演 ・啓発ブースの出展 等
オセアン滋賀ブラックス(野球)	
MIOびわこ滋賀(サッカー)	
東レアローズ(バレーボール)	

○新型コロナウイルス感染拡大の影響でプロスポーツ等の試合が中止・延期となり、再開後も観客数を制限するなどプロスポーツチームの発信力を十分に発揮できない中で、各チームが有する広報媒体やネットワーク等を活用した取組を検討していく。